

アグリサーチャー ニュース

Vol. 22
2021/11発行



アグリサーチャー

農業研究見える化システム

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp>



最新の研究成果と研究者を簡単検索。
生産者と研究成果とを未来へ繋ぎます。

アグリサーチャー

検索

今月の研究成果トピックス

研究成果を
ご紹介

種なし果の安定生産が可能な

早生の甘ガキ「麗玉」「太雅」



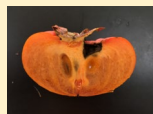
写真提供:農研機構

甘ガキの生産は「富有」を中心とした中晩生品種に偏っており、早生品種は生産が多くありません。そのため、収穫や出荷労力の分散、販売・消費期間の拡大につながるよう、早生品種が望まれていた中、「麗玉」と「太雅」は、ともに10月中下旬頃に収穫できる早生の甘ガキとして育成されました。また、甘ガキによく見られるへたすき果がほとんど発生しないうえ、果汁が多く、果肉も柔らかいおいしいカキです。受粉をしなくても結実する単為結果性が強いので、消費者ニーズの高い種なしカキを安定して生産することでも優れた品種です。

全国各地でカキ生産者が試作栽培を始めていて、「麗玉」は食味が良く外観が優れる点、「太雅」は食味が良い点で生産者に好評価を受けています。今後産地化に向けた検討が行われる予定です。

※へたすき果とは

へたと果肉の接着部にすき間ができた果実のこと。
へたと果肉の成長度合いが異なること等が原因で生じる。
商品価値が低くなる。



■研究成果
はこちら



開発した研究者の声 尾上 典之さん (農研機構果樹茶業研究部門)

ひらたねなし

種なしカキといえば渋ガキの「平核無」が有名ですが、渋ガキを食べるには渋抜きが必要なので、生産者はその分手間がかかります。一方、甘ガキの「麗玉」や「太雅」は渋抜きをしなくても、そのまま食べられます。生産者と消費者の双方に「おいしい」カキとして広まることを期待しています。



■研究者の紹介
はこちら



麗玉と太雅の種なし果

■関連情報

・「麗玉」「太雅」の
農研機構紹介ページ



○苗木は2016年秋季より販売開始されています。
最寄りの園芸店で購入いただくか、取扱店舗等を確認したい場合は（一社）日本果樹種苗協会
(<http://www.kasyukyo.or.jp>)
までお問い合わせ下さい。

■イベント情報

・アグリビジネス創出フェア2021
(会場展示)

開催期間: 令和3年11月24日~26日

東京ビッグサイト 青海展示棟

(オンラインサイト展示)

公開期間: 令和3年9月24日~令和4年1月26日

(<https://agribiz.maff.go.jp/>)



■Webアクセス情報 (2021年10月末現在)

訪問者数平均: 7,224名 (累計: 391,243名)

